

皆さま

新年を迎え、お元気にご活躍のことと存じます。

私は幸い旧年も健康を保ち、 Gondwana 地質環境研究所 [\(GIGE\)](#) 本部の活動を継続することができました。

ここ数年 GIGE の最重要事業として、ネパール国立トリブバン大学トリチャンドラキャンパス地質学教室の協力を得て毎年 3 月に日本とネパールの学生を対象にした [ヒマラヤの野外実習ツアー](#) の企画・実施・引率を行ってきており、旧年も 3 月に実施しました。しかしその約 1 か月後にネパールはカトマンズを中心とする広い地域で大きな地震被害を受けました。幸い同地質学教室の教員・学生に大きな人的被害はありませんでしたが、教室の建物・設備は大きな被害を被り、また教員・学生の多くも個人的にいろいろな被害を受けました。GIGE はできるだけ多くの機会に [ネパール地震とその被害を報告](#) し、救援義援金を募って先方に送る努力を行ってきました。

一方、震災の痛手の中、トリブバン大学地質学教室では第 5 回学生のヒマラヤ野外実習ツアーの実施 OK の判断をしました。また、現地の旅行社やホテルからも現地情報とともに、ツアーの実施を強く求めるメールを受けました。学生のヒマラヤ野外実習プロジェクト世話人会は、現地の判断を重視し、また、ネパールの震災復興支援の意味もあると考え、第 5 回実習ツアーの実施を決定しました。

旧年度の GIGE 本部の活動は、第 4 回学生のヒマラヤ野外実習ツアー（2015 年 3 月予定）の実施、その報告冊子の出版、[第 5 回実習ツアー（2016 年 3 月）](#) の準備、学生のヒマラヤ野外実習プログラムとネパール震災情報の日本国内での敷衍のための情宣活動（学会発表など）と、ヒマラヤ地学ガイドブックそのほかの書籍数冊の編集などでした。

[GIGE 2015 年の活動概要](#)は下記のサイトでご覧いただけます。

<http://www.geocities.jp/gondwanainst/2015yearlyreport/GIGE2015activity-summary.pdf>

また、詳しい[月別活動報告](#)は下記のサイトでご参照下さい。

<http://www.geocities.jp/gondwanainst/2015yearlyreport/GIGE2015monthlyactivity.pdf>

なお、Gondwana 地質環境研究所の関連した活動全般については下記の [GIGE ホームページ](#)でご覧いただけます。 <http://www.geocities.jp/gondwanainst/>

一方、[国際 Gondwana 研究連合 \(IAGR\)](#) と [Gondwana リサーチ \(GR\)](#) は順調に発展してきております。IAGR は毎年 Gondwana 諸国で総会と国際シンポジウム「Gondwana からアジア」を開催し、最近はとりわけアジアの Gondwana 研究に大きく寄与しています。また Gondwana Research (GR) はすでに数年にわたって地球科学関係の国際誌のなかでトップクラスのインパクトファクターを得ており、さらに伸びつつあります。IAGR 事務局長と GR の主編集者を務めている M. サントシ氏の熱意と有能さが大きく評価されます。なお、[今年の IAGR 総会と第 13 回 Gondwana からアジア国際シンポジウム](#)は IAGR 発祥の地とも言える南インドのトリバンDRAM で 11 月 18 日～24 日に開かれます。皆さまの積極的なご支援をよろしくお願いします。

吉田勝

2016 年元旦

Gondwana 地質環境研究所 <http://www.geocities.jp/gondwanainst>

648-0091 和歌山県橋本市柱本 1 4 7 - 2

E-mail: gondwana@oregano.ocn.ne.jp 電話・Fax : 0736-36-7789